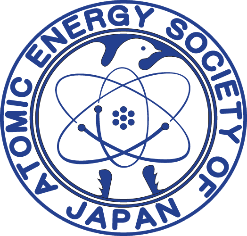
**一般社団法人　日本原子力学会**



**日本原子力学会では「教育会員」を募集中です！！**

**～小・中・高等学校の先生方にご紹介ください～**

日本原子力学会では、設立60周年を迎えるに当たり、小・中・高等学校の先生方を対象に、広く原子力や放射線の理解を深めていただくことを目的に「**教育会員**」を設けることとしました。

学会員の皆様には、お知り合いの先生の皆様に、ご紹介をお願いします。

なお、教育会員の会費等は学生会員と同じで、以下のとおりです。

**・入会金　無料**

**・年会費　5,000円（会計年度は４月～３月）**

**下半期入会（10月～3月にご入会）の初年度は、半額の**

**2,500円になります。**

**・部会/連絡会費　無料**

＜ご紹介にあたって＞

**１「日本原子力学会」とは？**

○原子力の平和利用に関する学術と技術の進歩、開発・発展に寄与することを目的とする日本で唯一の原子力に関する総合的な学会です。昭和34年に設立され、来年には創立60年を迎える歴史ある学会です。

○活動内容：学会誌（月1回）や論文誌の発行、年会（3月）や大会（9月）、シンポジウムや講演会などの開催、専門分野別の部会や連絡会の活動、支部（全国で８支部（北海道、東北、北関東、関東甲越、中部、関西、中国・四国、九州）の活動など

○個人会員：この分野に関心のある大学教員、研究者、民間企業人など正会員が約6,500名と学生会員が約500名。

○賛助会員（法人）：電力会社、重電メーカー、燃料メーカー、建設会社、原子力研究機関など約250社

○年間予算規模：約2.5億円

**２「教育会員」になるとどんなメリットが期待できますか？**

○当学会HPの全ての閲覧、毎月の学会誌の郵送、学会が発信する情報メールサービスの受信、大会・講演会・シンポジウムなどに優待価格で参加することができます。

○全国にある支部主催のオープンスクールなどが盛んであり、また専門分野ごとの部会の中には、理工学の専門領域から放射性廃物を扱うバックエンド部会や文系の社会環境部会まであり、選択参加も不参加も自由です。

○これら活動への参加やネットワークの活用によって、放射線の医学・農学・産業利用の現状と将来、放射線の健康影響の有無、原子力発電の長所・短所、地層処分場の立地問題などの数々の疑問に答えることができると思います。また、これらの課題を一緒に学び議論をすることが可能です。

**３「教育会員」になるには、どうすればいいのですか？**

〇ご関心のある方は、次頁の申込用紙に記入して、学会事務局会員係までお申込みください。折り返し、会員番号と会費お支払方法を電子メールにてご連絡させていただきます。

**＜お申し込み・問い合わせ先＞**一般社団法人 日本原子力学会 会員係

〒105-0004 東京都港区新橋2-3-7　新橋第二中ビル3階　　　　　　　TEL. 03-3508-1267

　FAX. 03-3581-6128

E-mail： kaiin@aesj.or.jp

ホームページ http://www.aesj.net/

＜ご参考＞

　2019年春の年会　2019年3月20～22日 茨城大学 水戸キャンパスにて

　2019年秋の大会　2019年9月11～13日 富山大学五福キャンパスにて

　2020年春の年会　2020年3月16～18日 福島大学にて

　2020年秋の大会　2020年9月16～18日 九州大学伊都キャンパスにて

（2018年12月作成）

**一般社団法人 日本原子力学会「教育会員」入会申込書**

**氏名（漢字）**

**氏名（フリガナ）**

**Name（アルファベット）**

**生年月日**西暦　　　　年　　　月　　　日

**性別**□男　　　□女

**入会希望年月**　　西暦　　　　年　　　月から入会

**学会誌送付先**　　　　　□勤務先　　　□自宅

**請求書送付先**　　　　　□勤務先　　　□自宅

**勤務先（学校）**

　　学校名

　　担当教科（自由）

住所　　　〒

　　電話番号

FAX 番号

**ご自宅**

住所　　　〒

　　電話番号

FAX 番号

**ご連絡用メールアドレス**

**本申込書のご提出は、次のうちいずれかの方法でお願いします。**

　1.　電子メール添付（kaiin@aesj.or.jp）

2.　FAX送信（FAX.03-3581-6128）

3.　郵送（105-0004 港区新橋2-3-7新橋第二中ビル3階 日本原子力学会宛）